

2025年3月期 決算説明会 Q&A (2025年1月31日開催)

Q1. 国内の第4四半期の受注見通しは？

A1. 国内は自動車向けの受注回復に時間を要していますが、半導体製造装置関連の引合が緩やかに増加しており、通期の受注計画を上方修正しています。

Q2. アメリカの自動車向けの受注動向は？

A2. アメリカの自動車向けの受注は、特定の車種においては増加傾向にあります。来期以降は、先行き不透明感の緩和によりハイブリッド車関連および ICE 車関連の受注が増加すると見込んでいます。

Q3. マクロ経済の悪化にも関わらず、なぜヨーロッパの受注が前年同期比・前四半期比ともに増加しているのか？

A3. ドイツの受注は減少していますが、フランス・イタリア・東欧などで自動車向けや一般機械向けの受注を獲得しました。ヨーロッパ全体では厳しい状況であり、通期の受注計画を下方修正しています。

Q4. 第3四半期の実績において、価格転嫁（値上げ）の効果は反映されているか？

A4. 2022年1月以降に合計4回実施した値上げの効果は、すべて売上に反映されています。足元でインフレが継続している状況を踏まえ、2025年1月の新規お見積り分から再度値上げを実施しており、この効果は来期以降の売上に反映されると見込んでいます。

本資料に記載いたしました将来の業績に関する見通しは、公表時点で入手可能な情報に基づく将来の予測であり、潜在的なリスクや不確定要素を含んだものです。

そのため、実際の業績は、さまざまな要因により、記載された見通しと大きく異なる結果となる可能性があることをご了承願います。

実際の業績に影響を与える重要な要因には、当社の事業を取り巻く経済情勢、社会的動向、当社の提供するサービス等に対する需要動向による相対的競争力の変化等があります。なお業績に影響を与える重要な要因は、これらに限定されるものではありません。